

「情報公開文書」

課題名：人間ドック受診者に対するヘリコバクター・ピロリ感染の観察研究

筑波大学附属病院つくば予防医学研究センターでは、標題の臨床研究を実施しております。本研究の概要は以下のとおりです。

1. 研究の対象
筑波大学附属病院つくば予防医学研究センターを受診した方。
2. 研究期間
倫理審査委員会承認後～2028年3月31日まで。
3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日
当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。
利用開始日：2018年3月1日
提供開始日：2018年3月1日
4. 研究目的
ヘリコバクター・ピロリ菌は胃がんの原因とされています。その感染状態を調べることで、胃がん検診の補助的な役割が期待されています。当施設では血清ピロリ抗体、血中ペプシノゲン、便中ピロリ抗原、内視鏡検査を同時に行うことで、より正確なピロリ菌感染診断が可能となっています。本研究では、胃がん発見率、ピロリ菌感染に関連する因子の解明、胃がん発症や感染予測モデルの構築等、ピロリ菌感染と胃がん予防に関する研究を行うことを目的とします。
5. 研究方法
当施設で収集した受診者情報及びヘリコバクター・ピロリ菌に関する検査結果等を活用し、従来の統計解析に加え近年普及しているDeep learning（深層学習）手法を用いて解析を実施します。Deep learning 解析はNeural Network Consoleに匿名化した、画像を含まないデータセットを読み込み実行します。
6. 研究に用いる試料・情報の種類
性別、年齢、西暦（生まれ年）、除菌歴、喫煙歴、飲酒歴、身長、体重、BMI、血糖及び脂質関連項目、血清ヘリコバクター・ピロリ抗体、血中ペプシノゲン、便中ヘリコバクター・ピロリ抗原、ABC分類、内視鏡所見 等。
7. 外部への試料・情報の提供
該当しません。
8. 研究組織
本学単独研究です。
9. 利益相反（企業等との利害関係）について
ありません。
10. 試料・情報の管理について責任を有するもの

筑波大学附属病院消化器内科 つくば予防医学研究センター 高山 敬子

11. 研究機関名および研究責任者名

筑波大学附属病院消化器内科 つくば予防医学研究センター 高山 敬子

12. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族が本研究への参加を希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

13. お問い合わせ先

筑波大学附属病院: 〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名:消化器内科 つくば予防医学研究センター 高山 敬子

電話:029-853-3218 (平日 10~17時)